

目次

□巻頭言 シールド工法の今昔……………渡辺 健 / 1

シールド工法の現況……………栗原和夫 / 3

最近のシールド掘削機……………西岳 茂 / 8

東京都の下水道事業計画とシールド……………武見 英雄 / 16

営団地下鉄 11 号線 (半蔵門線) 工事概要……………富張 清一郎 / 21
百瀬 敏 彦

東京都水道局北部幹線シールド工事概要……………山口 充博 / 28

グラビヤ—最近のシールド

名港導水路海底シールド工事実績……………太田 義一 / 35

クラッシュ内蔵型泥水加圧式シールドの
概要と施工例……………小川 武記 / 44
納見 誠一
塩 入 敏 彦

アーティキュレート式シールド……………小野村 和男 / 48

小断面都市トンネル工法 OCAMS/PS 工法……………三島 亨介 / 52

□部会研究報告

シールド仕様書様式 (案)……………シールド掘進技術委員会 / 56
機械技術部会

□随 想 山とダムと……………山田 昌巳 / 60

アスファルト舗装の現位置再生工法の概況……………高野 漢 / 62

浮遊式連続埋立工法 (フローティングコン
ベヤシステム FCS)……………石井 一郎 / 67
宮崎 良 彦

□新刊図書紹介

日本建設機械要覧—1980 年版……………要覧編集委員会 / 74

□新機種ニュース……………調査部会 / 76

□整備技術

機械マネージャの任務と使命 (2)……………整備技術部会 / 80

□ISO 規格紹介

土工機械の性能試験方法に関する ISO 標準規格 (1) ……ISO 部会 / 83

□統 計

建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移
……………調査部会 / 85

行事一覧…………… / 86

編集後記…………… (津田・折橋・鈴木) / 88

◀表紙写真説明▶

日立 UH 07-s 油圧ショベル

日立建機株式会社

本機は、UH 07-3 に各種用途でのユーザーズを広くとり入れ、大幅にモデルチェンジされたもので、掘削性能をさらに向上させ、一方では 23% の燃費低減が図られている。また各種用途の使用にも能率が上がるよう各動作速度、掘削力などを上げながら作業時の安定の良さやすぐれた操作性は従来そのままに維持されている。さらに、ユーザーのランニングコストに影響する信頼性、耐久性をより一層向上させた。運転室まわりも一新されて居住性を高め、整備性の改善や国際規格にマッチしたアクセス (運転取扱いのための機械への近接性能) を備えるなど、細部にわたりハイクラスの技術を盛り込んでいる。

バケット容量……………標準 0.7 m³

エンジン出力……………105 PS

全装備重量……………18.5 t